

事例部門 優秀賞（長野県木材協同組合連合会理事長賞）

下條村 Yさんの家

所在地 下伊那郡下條村

構造 木造2階建

延べ面積 93.6㎡

応募者 新井建築工房+設計同人 NEXT

代表 新井 優



スキップ階段とリビングダイニング 小さな家の為、地域材の見え方を工夫



傾斜地を活かしスキップした住宅とアウトドアリビング

作品のコンセプト（施主から）

長男だからいつかは下條村に戻る、ということを決めてはいたものの、いつまでもぼんやりとしていたビジョンがはっきりしたのは3年前の夏でした。

県外に暮らして数年、一歳の娘と帰省していた私たちが見たのは、朝露にきらきらする田んぼの真ん中の道をのんびりと登校していく小学生の男の子でした。

子どもはどこでも育つとわかっていましたが、自分たちが育った信州で子育てをしたいという気持ちがはっきり定まった光景でした。

敷地は実家と同じ地区の農家の方が「〇〇くんが帰ってくるなら」とすばらしい見晴らしの農地を提供してくださいました。

そしてなにより、年を経て、暮らしていくほどにすてきになっていく小さな巣のような居場所になる家がいい、そんな私たちの思いをかたちにしてくださいる建築士さんと出会うことができました。

じっくり話を聞いていただき、ご提案いただいた家は斜面を活かしたスキップフロア。

半階下にある寝室は眠りに降りて行くときに少しひんやりとした巣穴に籠るようでとても落ち着き、半階上にある子ども室は空に向かって登って行く感覚と窓辺のベンチがわくわくします。

冬には本棚に囲まれた天井が少し低い暖炉部屋にみんなが集まり、夏にはアウトリビングとしてご提案いただいたウッドデッキにプールを広げ、子どもたちがはしゃぎます。

思い切り畑仕事や庭仕事をして泥だらけになってもウッドデッキから直行できるお風呂、畑で収穫したたっぷりの野菜をどんどん料理していく心地よい台所。

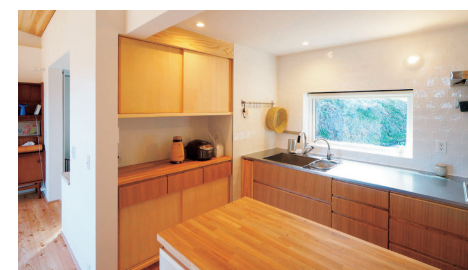
部屋は心地よく繋がり、どこにいても家族みんなの存在が程よく感じられ、居場所が沢山ある家。

家族が増え、歳を経て、家族の距離やかたちが変わっていくことがこんなに嬉しいものはこの家のこの暮らしがあるからだといま心から思います。



外から飛び込める浴室

正面に窓がある独立型のキッチン



薪ストーブ、本棚、ベンチのあるリビング

信州での「住まい方」 応募者の思い

年を経て、暮らしていくほどに素敵になっていく小さな巣のような居場所になる住まい。アウトリビングや、薪ストーブの周りにベンチと本棚がある濃密な家族の団らんが出来る入り込み暖炉。

窓際ベンチが楽しい子供室、畑仕事の後に外から飛び込める浴

室…。Uターンした故郷の素晴らしい見晴らしの傾斜地に建ち、大らかな時の流れの中で家族の時間と地域の繋がりを紡いでいく住まい。

審査員講評

傾斜地をうまく活用した、3層のスキップフロアの住宅は、コンパクトなのに自然の中に存在感を感じさせられる建物です。

大きなリビングテーブルからは、アウトリビングやキッチン、薪ストーブを備えた憩いスペースと見渡せ、家族みんなの共有スペースが感じられる。

外から入れる浴室やリビングは自然と一体感が感じ、日々の生活

の動きも想像させられる。

木材はほとんどを県産材を活用しており、地域と自然に溶け込んで建っています。

家族みんなが、デッキに腰を掛け団楽する姿が目につく住宅です。

（宮崎 正毅）